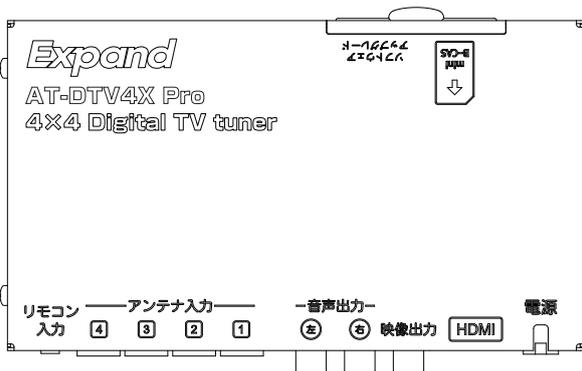


地上 DTV チューナー AT-DTV4X Pro

SET UP MANUAL

Expand



フルセグ・ワンセグ自動切換え対応



- 警告** 安全のために必ず守って頂きたい事。守らないと生命の危険、または重大な傷害につながる恐れがあります。
- 警告** ●装着作業の際、必ずバッテリーの(-)端子を外して作業してください。接続したままの作業は配線がショートすることがあり、感電の恐れや車両破損の原因となります。
- 注意** ●純正部品の取り外し、取り付けは整備要領書に従い、正しく行ってください。
●配線の結線などの取り付けは確実に行ってください。ショートや感電の恐れ、車両故障またはトラブルの原因となります。
●誤配線やショート、静電気により機器の故障、破損や感電する場合がありますので細心の注意の上、作業を行ってください。
●取り付けた配線などは定期的な点検してください。点検を怠ると重大な事故や故障、トラブルの原因となります。
●取り付けは安全を確保した上で、確実な作業を行ってください。
●万一異常が発生した場合、直ちに車両を安全な場所に停止させ、電源を切り、異常箇所を確認・点検を行ってください。

取付販売店へのお願い：本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

attack

株式会社エイタック 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田5581 Phone.045-595-1730 Facsimile.045-595-1733

■もくじ	1
■正しくお使いいただくために	2
■商品構成一覧表	3
■各部の名称(本体)	4
■各部の名称(リモコン)	5
■ご使用前の準備	6
■アンテナについて	7
■アンテナの取り付け	8~13
■他社映像機器と接続する	14~15
■リモコン受光部・電源ケーブルを接続する	16
■B-CASカードを挿入する	17
■リモコンを準備する	18
■初期設定をする	19
■バックグラウンドサーチについて	20
■チャンネル画面について	21
■リモコン操作について	22~32
■各種設定について	33~36
■こんなときは?	37
■製品仕様	38

正しくお使いいただくために

地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送では受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり正常に放送を受信できなくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用チューナーに比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 走行地域や天候の変化により電波の受信状態が変わり、影響を受ける場合があります。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を本機やアンテナケーブルに近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

miniB-CAS カードの取り扱いについて

- 地上デジタル放送は著作権保護のため、B-CAS カードを挿入していないとスクランブルがかかり、視聴することができません。地上デジタル放送を視聴する時は必ず miniB-CAS カードを本機に挿入してください。
- 「B-CAS カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり、了承された上で台紙から miniB-CAS カードを取り外してください。
- miniB-CAS カードを乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師に相談してください。
- miniB-CAS カードに関する質問やユーザー登録登録はかき台紙の内容などに関して不明な点がある場合、(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター (TEL:0570-000-250) へお問い合わせください。

免責事項について

- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 他人に譲渡または、処分などされる際は、プライバシー保護のために本機に入力した個人の情報管理や消去は、必ずお客様の責任において行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラム等が変化・消失した場合の補償はいたしかねます。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障のときなどに、本機に登録されていた情報が変化・消失した場合、その内容の補償は致しかねます。

商品構成

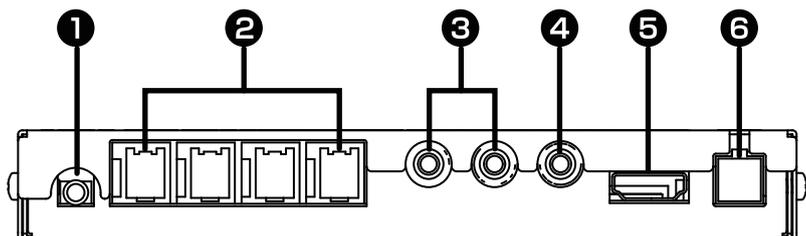
本機には下記のもが同梱されています。設置・接続の前にご確認ください。

<p>■ 地上デジタルTV チューナー本体</p> 	<p>■ リモコン (テスト用ボタン電池付き)</p> 
<p>■ リモコン受光部</p> 	<p>■ 電源ケーブル</p> 
<p>■ フィルムアンテナセット</p>  <p>アンテナケーブル (5m) × 4</p>  <p>アンテナエレメント × 4</p>  <p>ケーブルクランプ × 4 クリーナー × 1</p>	<p>■ AV ケーブル (約 3m)</p>  <p>■ miniB-CAS カード</p> 
<p>■ 取扱説明書兼保証書 (本書)</p> 	

- 付属品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

各部の名称(本体)

本体前面



① リモコン受光部接続端子

付属のリモコン受光部を接続します。

② アンテナ入力端子

付属のアンテナケーブルを接続します。

③ 音声(左・右)出力端子

他社映像機器の音声入力端子に接続します。

④ 映像出力端子

他社映像機器の映像入力端子に接続します。

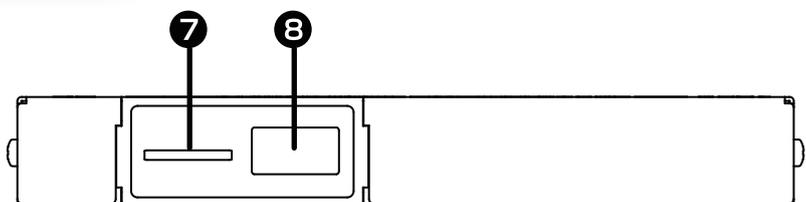
⑤ HDMI 出力端子

他社映像機器の HDMI 入力端子に接続します。

⑥ 電源端子

付属の電源ケーブルを接続します。

本体背面



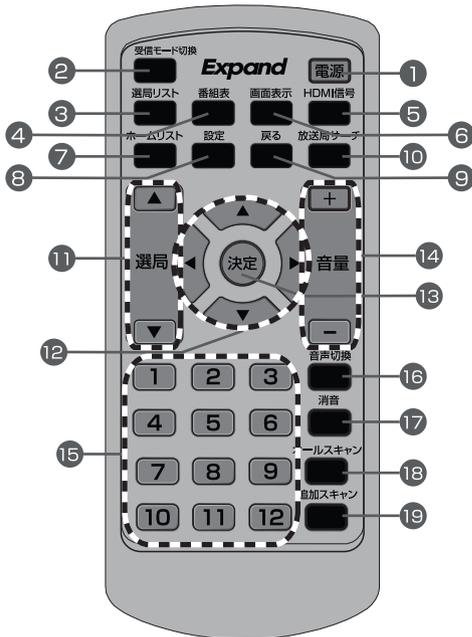
⑦ miniB-CAS カード挿入口

付属の miniB-CAS カードを挿入します。

⑧ アップデート用 USB 端子

ソフトウェアアップデート用の端子です。(通常使用しません)

各部の名称(リモコン)



① 電源

本機の電源を入 / 切します。

② 受信モード切換

受信モードを切り換えます。

(ワンセグ固定→ワンセグ優先自動切換→12セグ優先自動切換)

③ 選局リスト

選局リスト(ドライブ)に登録されているチャンネルを表示します。

④ 番組表

番組表を表示します。

⑤ HDMI 信号

HDMI 接続時、約 2 秒長押しで出力解像度を変更します。

⑥ 画面表示

番組情報・チャンネル情報の表示オン / オフを切り換えます。

⑦ ホームリスト

選局リスト(ドライブ)の内容を、選局リスト(ホーム)の内容に書き換えます。

⑧ 設定

各種設定画面を表示します。

⑨ 戻る

一つ前の項目に戻ります。

⑩ 放送局サーチ

・バックグラウンドサーチにて中継局 / 系列局情報がある場合
⇒手動で中継局 / 系列局を切り換えます。

・中継局 / 系列局情報が無い場合

⇒放送局サーチをおこないます。

⑪ 選局ボタン

選局リストに登録されているチャンネルを順番に選局します。

⑫ カーソルボタン

各種項目を選択します。

⑬ 決定ボタン

選択した項目を決定します。

⑭ 音量ボタン

音量を調整します。

⑮ 数字ボタン

各ボタンに登録されているチャンネルを選局します。

⑯ 音声切換

視聴中の番組が二カ国語放送や主 / 副音声放送の場合、音声の切り換えをおこないます。

⑰ 消音

音声をミュートします。

もう一度押すとミュートを解除します。

⑱ オールスキャン

スキャンをおこない、新たに選局リスト(ドライブ)を作成します。

⑲ 追加スキャン

スキャンをおこない、新たに見つかったチャンネルを選局リスト(ドライブ)に追加します。

ご使用前の準備

お買い上げ後は、以下の接続と設定をおこなってください。

- 1** アンテナを接続する
付属の地上デジタル用フィルムアンテナを接続します。
●必ず付属のアンテナを使用し、正しく接続してください。

- 2** 付属のケーブルを接続する
・ AV 出力ケーブルもしくは HDMI ケーブル (※1) と映像機器 (※2) を接続します。
・ 電源ケーブルを接続します。
・ リモコン受信部を接続します。
(※1)HDMI 接続する場合、HDMI ケーブルは別途ご用意ください。
(※2) 映像・音声入力端子付きのカーナビゲーションまたはカーテレビ、カーモニター
●接続する機器の説明書もよくお読みください。

- 3** リモコンの準備をする

- 4** miniB-CAS カードを挿入する

- 5** 電源を入れ、カーナビゲーション、カーテレビ、カーモニターの入力切替 (※) などで本機からの映像が映る画面にする
(※) 本機を接続した映像機器の説明書をよくお読みください。

- 6** 初期設定をする
・チャンネルの初期スキャンを行います。
●画面の内容をお読みになり設定をすれば、本機を使用するために必要な初期設定が完了します。

以上で基本の接続と設定は完了です。

アンテナについて

お客様へのお願い

- このアンテナはフロントウインドウ貼り付け専用です。フロントウインドウ以外の場所には貼り付けしないでください。
- 貼り付け・配線のために、車両の内装（ビラーカバーなど）を一時的に取り外す必要がありますので、ご了承ください。
- フィルムアンテナ、アンブ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- ガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカーはがし剤を使わないでください。破損の原因になります。
- 車種によって取り付けられない場合や性能が発揮できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。車を購入した販売店に確認してください。
- ミラーフィルム、蒸着フィルムなどの電波不透過フィルムを施工したガラスの場合には、受信感度が極端に低下します。車を購入した販売店に確認してください。
- エアバッグをビラーに搭載している車両には取り付けることができません。

次のようなところでは、映りにくいまたは、映らないことがあります。

- 地上デジタル放送が行われていない、または受信できない地域。
 - ビルとビルの間を走行または停車している場合。
 - 上空を飛行機が通過、または電車が近くを通過している場合。
 - 送電線の付近を走行している場合。
 - テレビ局の電波塔から遠いところを走行している場合。
 - 山かげや木立の影に入って走行している場合。
 - トンネル内や鉄橋を走行している場合。
 - 地下や高架下等を走行または停車している場合。
 - 自動車、バイク、高圧線、ネオンサイン等の近くを走行している場合。
 - ラジオ、アマチュア / 業務無線の送信アンテナの近くを走行、または自ら発信している場合。
 - 車両の搭載機器（※）が動作している場合ノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。
- ※電動ドアミラー、パワーウインドウ、エアコン、HID ランプ、電動カーテン、電動サンルーフ、ドライブレコーダー、レーダー探知機、車載モニターなど。

フィルムアンテナを貼り付ける際の留意点

- 一度貼り付けると、エレメントの素子破損や粘着力が弱くなるため、貼り直しできません。アンテナを貼る前に必ずコードおよびアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- 必ずフロントウインドウの指定の位置・寸法内に正しく貼り付けてください。
- サイドガラスやリヤガラスには貼り付けしないでください。十分な受信状態が得られません。
- フロントウインドウ（内側）の汚れ（ゴミ、ホコリ、油）や、くもり止めや水分などをアルコール等で綺麗に拭き取ってください。ガラス面が乾かないうちは貼り付けしないでください。また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- アンテナフィルムははくり紙などをはがした面には手で触れないでください。汗や汚れ、静電気による故障や接触不良の原因になります。
- ガラス面が結露したり気温が低いとき（20℃以下）は、貼り付かなくなります。湿度が高いときはエアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどで貼り付け部分を暖めて、結露しないことを確認してから貼り付けてください。

アンテナの取り付け

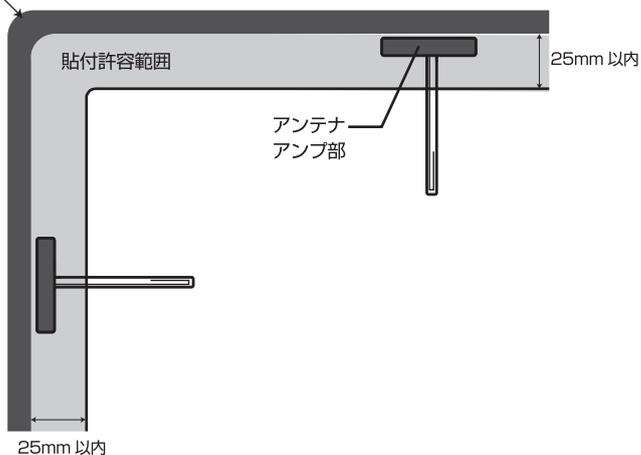
貼り付け位置について

⚠️ ご注意

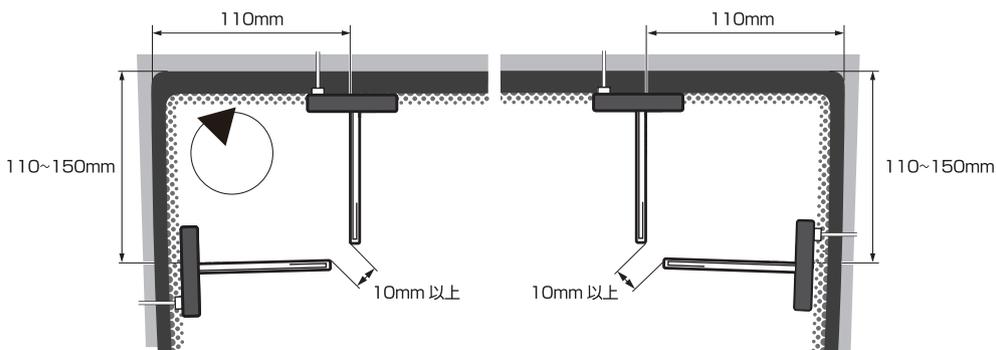
- アンテナは点検シールや検査標章などに重ねないでください。
- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、フィルムアンテナのアンブ部分は、必ず下図のように貼り付けてください。

貼付許容範囲：セラミックラインより内側に25mm以内の範囲

セラミックライン：フロントウィンドウの端の黒い部分及び黒い点々部分



貼り付け基準範囲（一例）

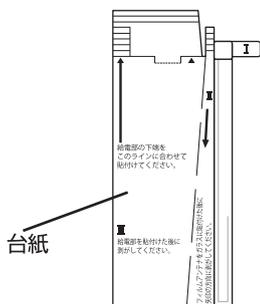


※上図イラストはアンテナ貼り付けの一例です。
各アンテナの距離を離すことが可能であれば、フロントガラス上部に4枚貼り付けても問題ありません。

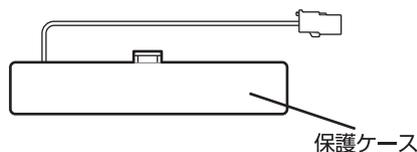
アンテナの取り付け

- 1** 内装部品を取り外します
必要に応じて、ピラーカバーやルーフライニングなどを取り外してください。
- 2** アンテナの貼り付け位置を確認します
前述の「貼り付け基準範囲」を参照の上、あらかじめアンテナを貼り付ける位置を確認してください。
- 3** アンテナを取り付けるガラス面に付着している、油分やホコリ等の汚れを拭き取ります
付属品のクリーナー等を使い、貼り付けるガラス面のホコリ、汚れ、油分を取り除いてください。
- 4** アンテナエレメントのセパレータを剥がし、ガラス面に貼り付けます
- 5** アンブ部分をアンテナエレメントに取り付けます

アンテナエレメントとアンテナケーブルについて



- 台紙に文字が印刷されている面が車内側です。



- アンテナアンブは給電端子を保護するためケースに入っています。アンテナアンブの取り付け位置を確認する際や、実際にフィルムアンテナに取り付けを行う時以外はケースから取り出さずに作業を行ってください。

⚠️ ご注意

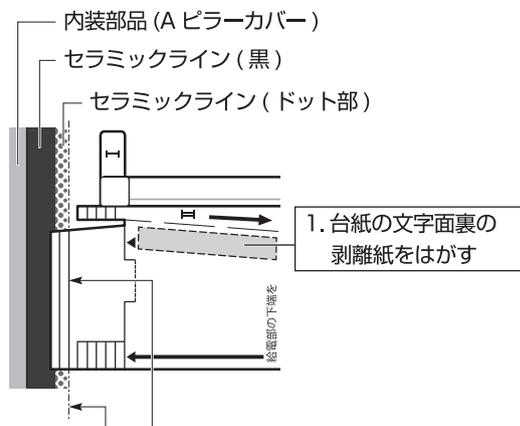
- アンテナエレメントは折り曲げたり、キズを付けたりしないようご注意ください。
- アンテナエレメントの給電端子部を直接手で触れないでください。皮脂などの汚れが付着するとサビなどの原因となり、本来の性能が発揮できなくなるおそれがあります。
- アンテナエレメントの貼り直しは、粘着力が弱くなるほか、アンテナエレメント自体が破損する恐れがあるため、お止めください。

アンテナの取り付け

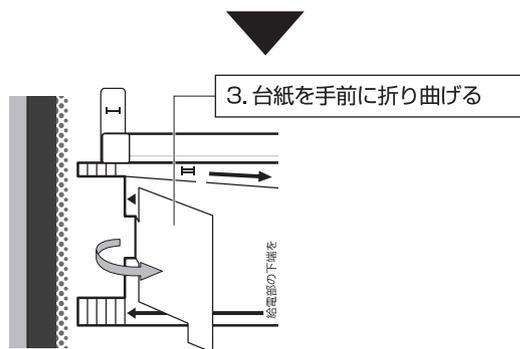
フィルムアンテナを貼り付ける

1) 下図を参照し、フィルムアンテナがセラミックラインに垂直になるように貼り付けてください。

●横貼り（左側）



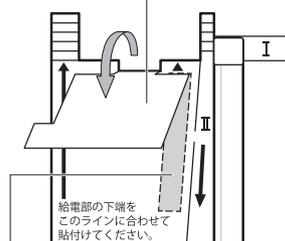
2. 台紙の2本目のラインをセラミックライン※の端に合わせ台紙を仮止めする
(※ドット部がある車両の場合はドット部を含む)



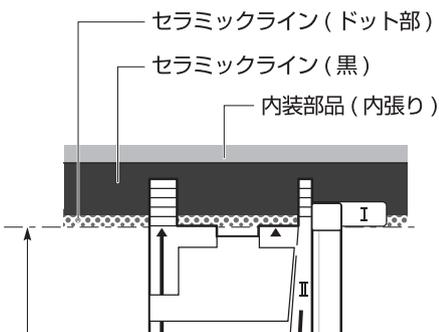
※イラストは左側ですが右側も同様に作業してください。

●縦貼り

1. 台紙を手前に折り曲げる



2. 台紙の文字面裏の剥離紙をはがす

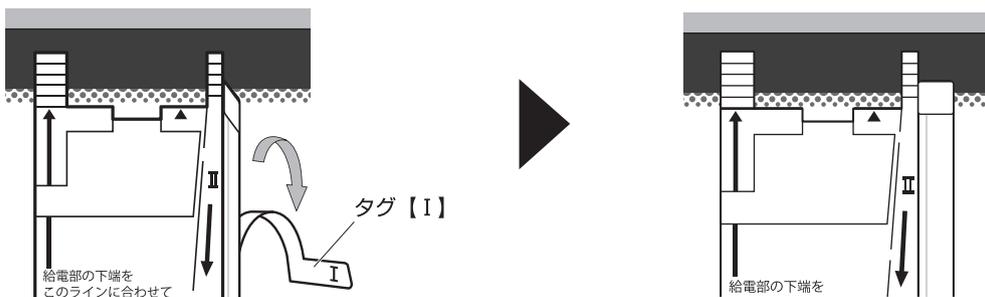


3. 台紙の▲印のラインをセラミックラインの端に合わせ台紙を仮止めする
(※ドット部がある車両の場合はドット部を含む)

アンテナの取り付け

2) タグ【I】の透明フィルムをゆっくりはがして、フィルムアンテナをしっかりとガラスに密着させる。

※イラストは縦貼りですが、横貼り（左右）も同様に作業してください。

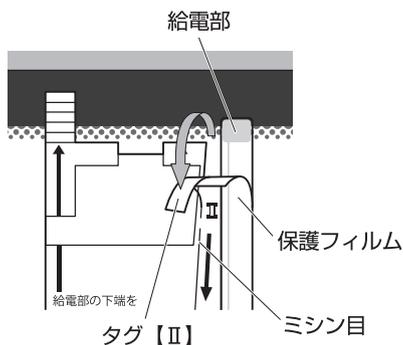


⚠️ ご注意

- 貼り付けの際はフィルムの上からアンテナ線を中心に指で強く押ししてください。
- 給電部は気泡が残らないように強めに押し付けてください。
- 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
- 一度アンテナがフロントガラスに貼り付くと、貼り直しができないのでご注意ください。

3) フィルムアンテナがフロントガラスに定着していることを確認しながら、タグ【II】と保護フィルムを台紙のミシン目に沿いながらゆっくりとはがしてください。

※イラストは縦貼りですが、横貼り（左右）も同様に作業してください。



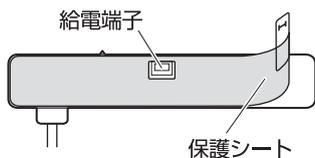
⚠️ ご注意

- 保護フィルムと一緒にフィルムアンテナがはがれてしまう場合は、保護フィルムを一度もとに戻し、アンテナ線を中心に強く押して定着させてから再度はがしてください。
- 給電部には直接手で触れないでください。皮脂等の汚れが付着すると給電部が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。

アンテナの取り付け

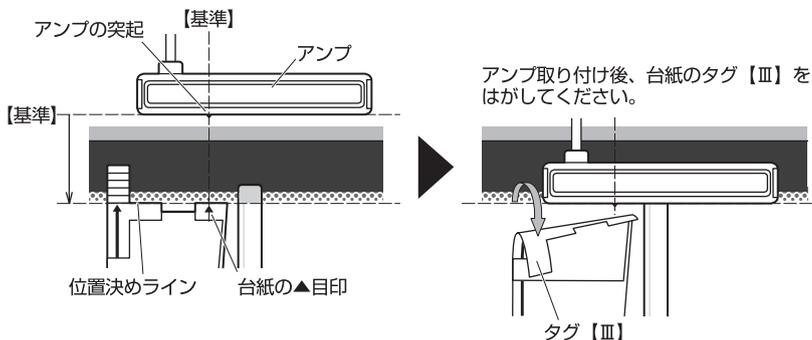
アンテナケーブルアンプ部をフィルムアンテナに貼り付ける

1) アンプ裏面の保護シートをはがします。



2) アンプの突起と台紙の▲目印、およびアンプの下端と台紙の位置決めラインを基準にしてアンプを取り付けます。

※イラストは縦貼りですが、横貼り（左右）も同様に作業してください。



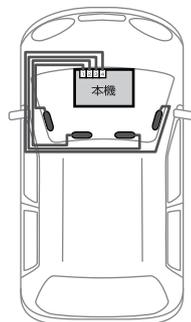
アンテナケーブルを配線する

- 車両金属部（ボディ）にアンテナケーブルがより近接するように配線すると、最良の受信感度が得られます。
- 配線は付属品のクランパーや市販のテープ等でしっかりと固定してください。

⚠️ ご注意

- アンテナケーブルはドライブレコーダーやレーダー探知機などの配線からなるべく離して配線してください。
- アンテナケーブルは高温・高熱となる部分との接触を避けてください。
- アンテナケーブルは無理に引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。
- 内装部品に無理な力を加えたり、折り曲げたりしないように注意してください。

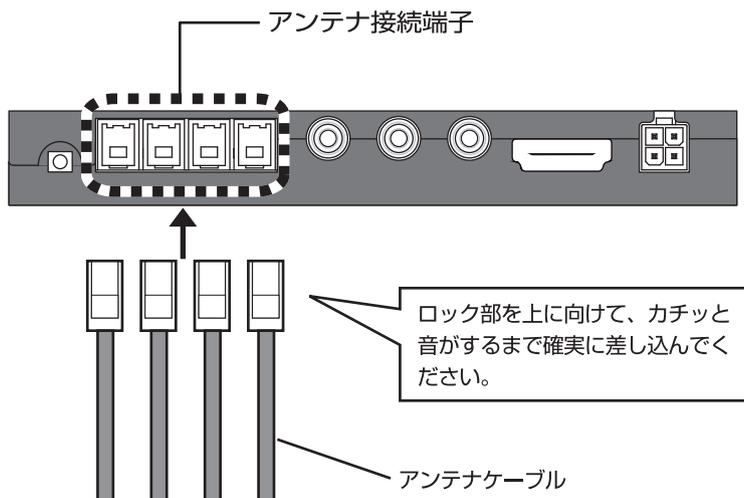
■配線例



アンテナの取り付け

アンテナケーブルを接続する

1) アンテナケーブルのコネクタを、本機のアンテナ入力端子に接続します。



2) 接続後、アンテナが正常に電波を受信しているか、本機の電源を入れて映像を確認します。

3) ケーブル類の引き回し処理をおこなってください。

※ケーブル類は運転の妨げにならないよう、グローブボックス裏等で 20cm 程度の円を描くように丸め、引き回し処理してください。

4) 取り外した内装部品を元通りに取り付けます。

▲ ご注意

- 引き回し処理後の余ったアンテナケーブルは他の車載機器の近くに置かないでください。受信感度が低下する恐れがあります。
- 内装部品を取り付ける際は、ケーブル類のはさみ込みにご注意ください。ショート、性能劣化の原因となります。

他社映像機器と接続する

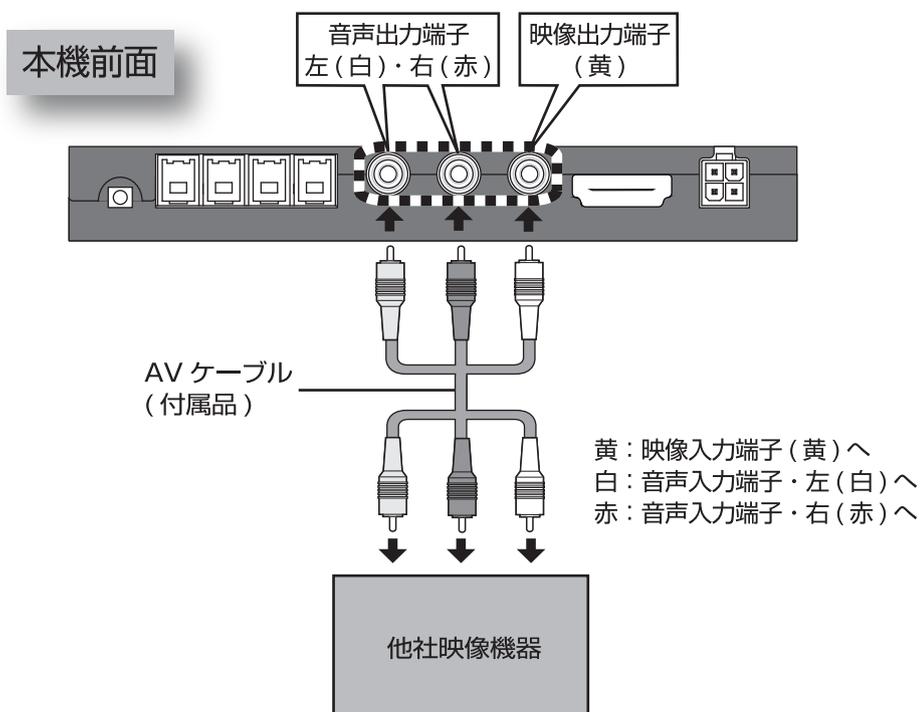
AV ケーブルまたは HDMI ケーブルを接続する

本機と他社映像機器を接続します。接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく接続してください。

▲ ご注意

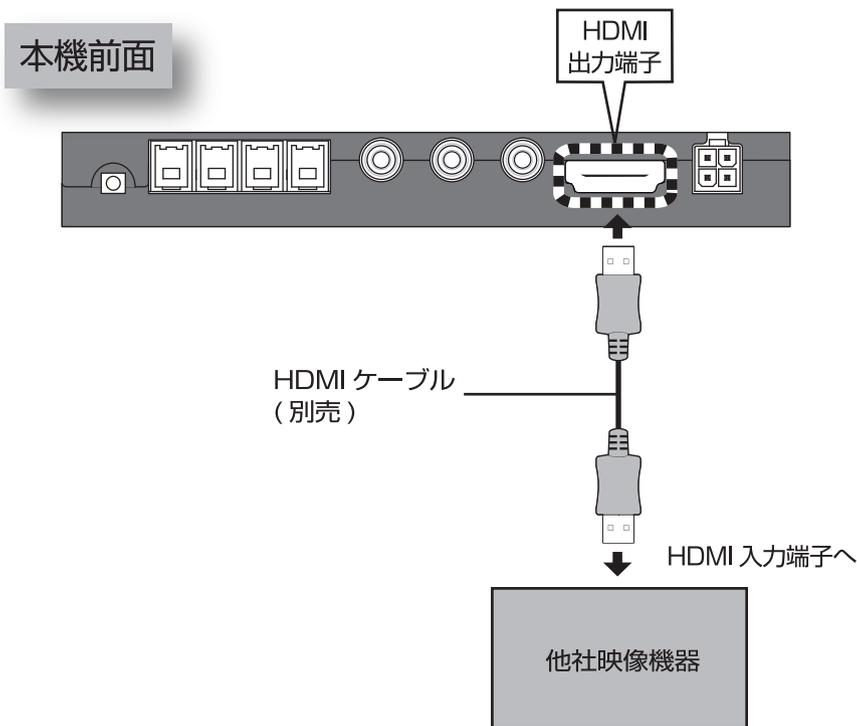
●HDMI 接続をおこなう場合、接続する機器は HDMI 標準技術規格に対応した機器をご使用ください。

■接続例 (コンポジット接続の場合)



他社映像機器と接続する

■接続例 (HDMI 接続の場合)



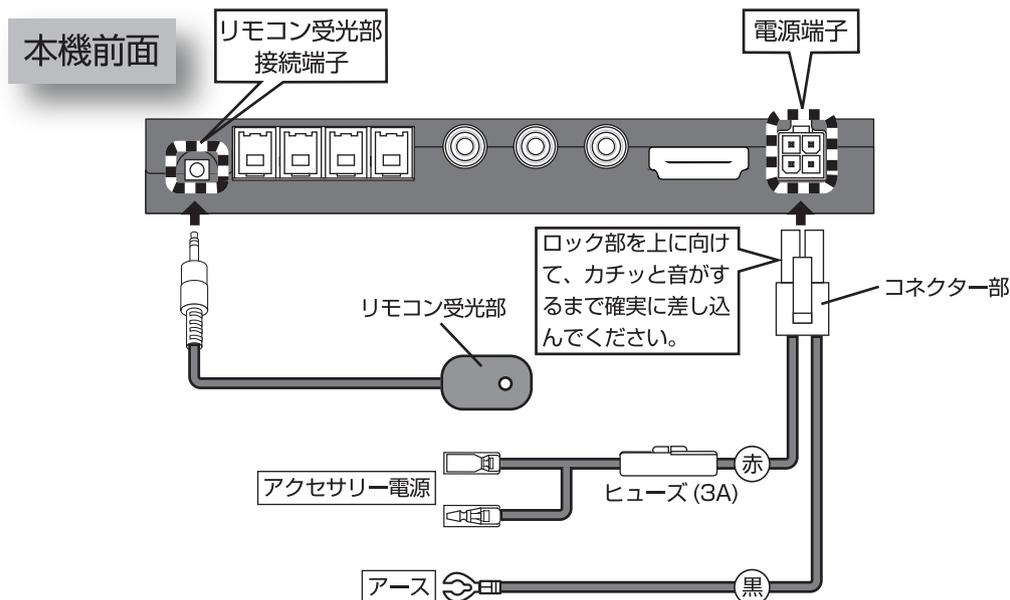
▲ ご注意

- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切ってください。
- プラグは奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズの原因となります。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜き取ってください。
- HDMI 出力解像度の初期設定は 720p です。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご確認ください。

リモコン受光部・電源ケーブルを接続する

付属のリモコン受光部と電源ケーブルを接続します。

DC12V 端子は車両のアクセサリ電源 (ACC 電源) に、アース端子は車両の金属部分に接続してください。



▲ ご注意

- 電源はアクセサリ電源 (ACC 電源) から取ってください。バッテリー電源から取ると、バッテリー上がりの原因となります。
- 電源コネクターはその他の配線が完了し、接続を確認した後に配線してください。
- 電源投入中にリモコン受光部の抜き差しをしないでください。故障の原因となります。
- コードは高温・高熱部や金属部との接触を避け、市販のコードクランパーや市販のテープで固定してください。
- ノイズ防止のため、TV・FM 多重アンテナのコード、車のラジオアンテナのコード、GPS アンテナのコード、電源ケーブル (付属) はナビゲーション本体や他のコード類から出来るだけ離してください。また、束ねたり交差させたりしないでください。
- ヒューズ交換の際は 3A のヒューズと交換してください。

B-CASカードを挿入する

- 地上デジタル放送を視聴するには、付属の miniB-CAS カードが必要です。必ず本体に挿入しておいてください。
- B-CAS カードの「使用許諾契約約款」をよくお読みのうえ、本機に正しく挿入してください。

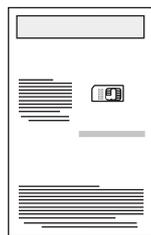
▲ご注意

- miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CAS カードには IC が組み込まれています。取り扱いは十分ご注意ください。
 - ・折り曲げたり、変形させない。
 - ・重いものを置いたり踏みつけたりしない。
 - ・水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
 - ・IC(集積回路)部には手をふれない。
 - ・分解加工は行わない。

1 miniB-CAS カードを取り出します

付属の miniB-CAS カードを台紙から取り出してください。

※台紙から取り出す前に、使用許諾契約約款を必ずお読みください。



2 本機に B-CAS カードを挿入します

本機背面の miniB-CAS カード挿入口カバーを開け、miniB-CAS カードの IC 部分を下にしてスロットに差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。



※IC 部分を下にしてイラストの向きで挿入してください。

3 miniB-CAS カード挿入口カバーを閉めます

miniB-CAS カード挿入口カバーを、パチッと音がするまで閉めます。

B-CAS カードについてのお問い合わせ (紛失・破損など)
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250

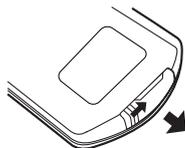
リモコンを準備する

リモコンご使用の前に、付属のテスト用電池をリモコンに入れてください。

リモコンの電池の交換方法

1 電池ケースを引き出します

電池ケースのロック部を内側に押さえながらくぼみにツメを引っかけて引き抜きます。



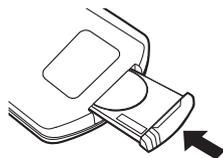
2 電池を入れます

電池の+(プラス)側を上にして電池ケースに入れます。



3 電池ケースを差し込みます

電池ケースをカチッと音がするまで差し込みます。



使用方法

- リモコンの送信部を、リモコン受光部に向けて操作してください。
リモコンの操作範囲はリモコン受光部よりおよそ3m以内です。

▲ ご注意

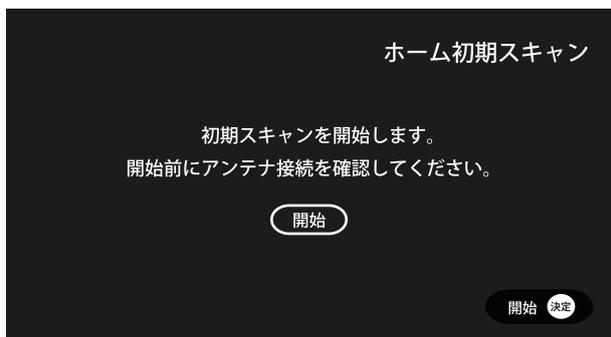
- リモコン受光部に直射日光や強い照明が当たると、リモコンの動作が鈍くなります。
リモコン受光部の取付位置を変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。
- リモコン受光部とリモコンの間に物を置かないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
また、濡らしたり温度の高いところに置かないでください。



初期設定をする

初期スキャンをおこなう

はじめて本機の電源を入れると、自動的に下図のホーム初期スキャン画面が表示されます。画面の表示に従って、初期スキャンをおこなってください。



- リモコンの決定ボタン(決定)を押すと、スキャンを開始します。



- 初期スキャンが完了すると、選局リスト(ホーム)と選局リスト(ドライブ)に自動でチャンネルが登録され、チャンネル画面が表示されます。

⚠ ご注意

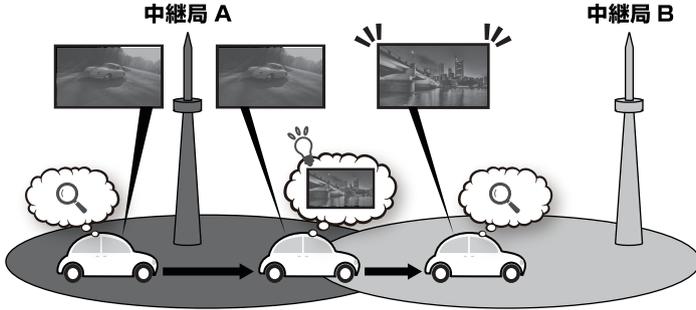
- スキャンは見晴らしがよく、電波受信環境の良い場所で停車しておこなってください。受信環境が悪い場所でおこなったり、スキャン中に移動したりすると放送局電波が受信できない場合があります。

バックグラウンドサーチについて

本機はバックグラウンドサーチ機能を搭載しています。

走行中、本機内部では常に最適な中継局のサーチと、現在受信中の中継局との受信感度の比較をおこなっています。

長距離の移動などで中継局の切り換えが発生する際、黒画面や映像途切れの少ない、スムーズな中継局の切り換えをおこなうことができます。



バックグラウンドサーチ機能の動作について

- バックグラウンドサーチ機能により、現在視聴中の放送の別物理チャンネルを発見すると、現在の電波状況との比較動作をおこないます。
比較動作中はアイコンが黄色に変化して確認できます。



- 発見した別物理チャンネルのほうが受信感度が良い場合、画面右下に「切替中...」と表示され、中継局が切り換わります。

⚠️ ご注意

- 受信状況により、中継局の切り換えに時間がかかる場合があります。
- バックグラウンドサーチが動作中（ワンセグ受信状態）は3チューナーで受信し、1チューナーがバックグラウンドサーチ動作を行います。
- 12セグ受信中はバックグラウンドサーチは動作せず、4チューナー全てで受信します。
- ホームエリアのみで車両を使用する場合などは、バックグラウンドサーチ機能をオフにすることでワンセグ受信感度が向上する場合があります。

チャンネル画面について



① 番組情報

番組タイトル・放送内容などが表示されます。

② UHF アイコン

現在視聴しているチャンネルの物理チャンネル番号を表示します。

※バックグラウンドサーチにて現在受信している中継局・系列局以外の中継局を発見した場合、現在受信している中継局・系列局との受信レベルを比較動作している際はアイコンが黄色く表示されます。

③ アンテナレベルアイコン

現在の受信電波状況に合わせてアイコンを表示します。

④ 受信モードアイコン

現在の受信モードを表示します。

12セグ・・・

ワンセグ・・・

⑤ リモコン番号

現在視聴しているチャンネルのリモコン番号を表示します。

⑥ 時計表示

現在の時刻を表示します。

ご参考

●上記のチャンネル画面表示はリモコンの  を押すことで、表示のオン / オフを変更することができます。

(番組情報 + アイコンを常に表示 / アイコンのみ常に表示 / 常に表示しない)

※常に表示しないに設定した場合でも、手動でのチャンネル切替時には約5秒間表示されます。また、リモコンで現在視聴中チャンネルのリモコン番号ボタンを押すと約5秒間表示できません。

リモコン操作について

本機の電源をオフにする

- 電源ボタン  を押すと本機の電源がオフになります。もう一度電源ボタン  を押すと、本機の電源がオンになります。



チャンネルを選局する

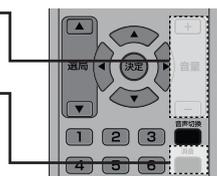
チャンネルの選局方法には次の3つの方法があります。

- 選局リストボタンから選ぶ
選局リストに登録されたチャンネル一覧から選局します。
- 選局ボタン   で選ぶ
選局リストに登録されたチャンネルを順番に切り替えます。
- 数字ボタン  ~  で選ぶ
各ボタンに割り当てられたチャンネルに切り替えます。



音量を調節する

- 音量ボタン   で音量を調節します。(工場出荷時“15”)
- 消音ボタン  を押すと一時的に音をミュートします。ミュートを解除するには、もう一度消音ボタン  を押します。



受信モードを切り換える

受信モード切換ボタン  で受信モードを切り換えます。

- 12セグ優先自動切換
12セグ⇄ワンセグを自動で切り換えます。
※受信状況が悪くなった場合でも、可能な限り12セグ放送を優先的に表示します。
- ワンセグ優先自動切換
12セグ⇄ワンセグを自動で切り換えます。
※受信状況が悪くなった場合、12セグ優先自動切換より早めにワンセグ放送に切り換えます。その為、音声の途切れやブロックノイズの発生などは少なくなります。
- ワンセグ固定
ワンセグ放送を固定で表示します。



リモコン操作について

選局リストからチャンネルを選局する

- 番組の視聴中に選局リストボタン  を押しと、
選局リスト画面が表示されます。
もう一度選局リストボタン  を押しと、選局
リスト画面を終了します。



-  ボタンを押して視聴したいチャンネルを選局します。
※決定ボタン  を押しと選択したチャンネルの番組詳細を表示します。

ご参考

- 表示される内容は放送局からの番組情報に依存します。
- 地上デジタル放送ではマルチチャンネル編成での放送がおこなわれていることがあります。
その場合は、⑨-1、⑨-2 のように表示されます。
- 走行中、バックグラウンドサーチ機能により選局リストの内容は常に上書きされていきます。

リモコン操作について

番組詳細を見る

- 番組表で番組を選択した状態で決定ボタン(決定)を押すと、ポップアップメニューが表示されます。「番組詳細」を選択して決定ボタン(決定)を押すと、選んだ番組の詳細な情報が表示されます。



番組詳細画面について



-   ボタンを押すと番組詳細の内容を上下にスクロールします。

ご注意

- 番組詳細が表示されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。

リモコン操作について

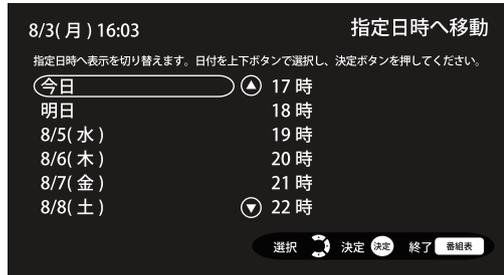
指定した日時の番組表を見る（指定日時へ移動）

- 番組表で番組を選択した状態で決定ボタン(決定)を押すと、ポップアップメニューが表示されます。「指定日時へ移動」を選択して決定ボタン(決定)を押すと、日時を指定して7日間先までの番組表を見ることができます。

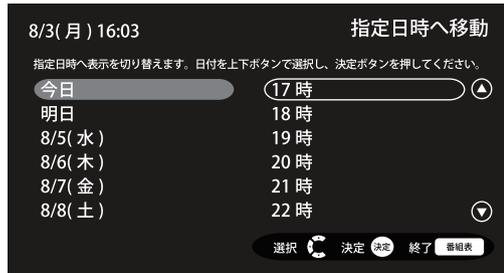


指定日時へ移動画面について

- 上下ボタンで日付を選択して、決定ボタン(決定)を押します。



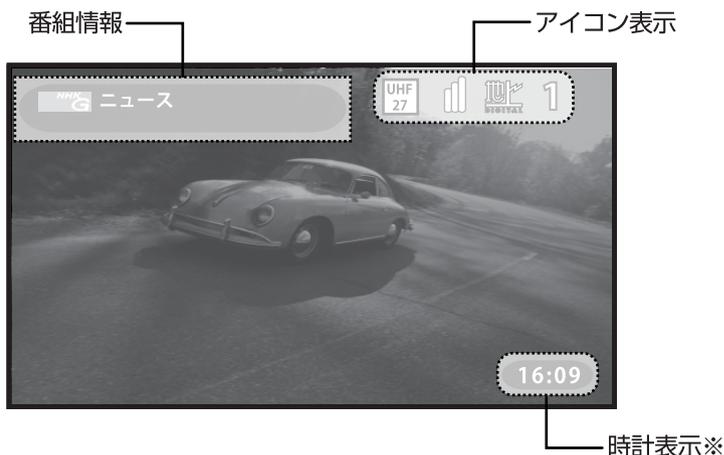
- 左右ボタンで時間を選択して、決定ボタン(決定)を押すと、現在視聴しているチャンネルの、指定した日時の番組表が表示されます。



リモコン操作について

画面表示のオン / オフについて

- 番組の視聴中に画面表示ボタン  を押すと、チャンネル画面に表示されている番組情報や時計表示、各種アイコンの表示のオン / オフを切り替えることができます。



- 画面表示ボタン  を押すたびに、画面表示のオン / オフを切り替えます。
(番組情報 + アイコンを常に表示 / アイコンのみ常に表示 / 常に表示しない)

※時計表示は設定の「時計表示設定」を「画面表示と連動」に設定した場合のみ、リモコンでオン / オフの切り替えをおこなうことができます。

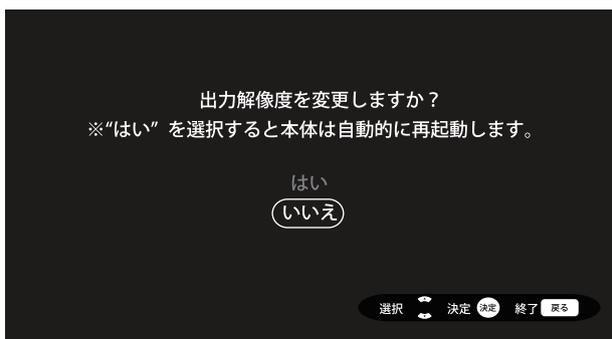
ご参考

※常に表示しないに設定した場合でも、手動でのチャンネル切替時には約 5 秒間表示されます。
また、リモコンで現在視聴中のリモコン番号ボタンを押すと約 5 秒間表示できます。

HDMI 出力解像度を変更する

- 本機と外部映像機器を HDMI 接続時に
HDMI 信号ボタン  を約 2 秒間長押しすると、
HDMI 出力解像度を 720p→1080p の順に変更
することができます。

(※工場出荷時 “720p”)



- HDMI 信号ボタン  を約 2 秒間長押しすると、上図の確認画面が表示されます。
  ボタンで “はい” を選択し、決定ボタン  を押すと、本機の再起動後、
出力解像度が変わります。

⚠ ご注意

- HDMI 接続する外部映像機器の対応解像度をご確認のうえ、設定をおこなってください。
外部映像機器の解像度が本機出力解像度に対応していない場合、映像が映らなくなる可能性があります。その際は一旦、本機出力解像度に対応した外部映像機器に接続して設定を切り換える必要がありますのでご注意ください。

リモコン操作について

選局リスト(ドライブ)の内容を選局リスト(ホーム)の内容に書き換える

本機の選局リストにはホームとドライブの2種類があります。

選局リスト(ホーム)は初期スキャンの時点で上書きされないリストとして本機に内部的に保存されます。走行中、中継局の切り換えが発生したり、リモコンのオールスキャンボタン^{オールスキャン} や追加スキャンボタン^{追加スキャン} を押してスキャンをおこなった場合は、選局リスト(ドライブ)の内容が書き換わります。

- ホームリストボタン^{ホームリスト} を押すと、選局リスト(ドライブ)の内容を選局リスト(ホーム)の内容に書き換えます。



ご参考

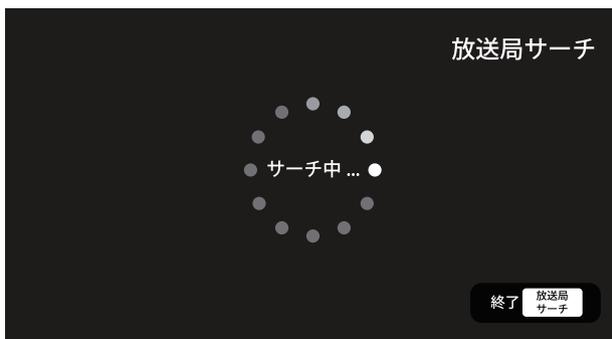
- 走行中、本機はバックグラウンドサーチ機能により、現在受信中の中継局よりも電波の強い中継局を発見した場合、自動的に受信中継局の切り替えをおこないます。

それに伴い、選局リスト(ドライブ)の内容も常に上書き登録されますが、ホームリストボタン^{ホームリスト} を押すことにより、選局リスト(ドライブ)の内容を初期スキャン時点の状態に戻すことができます。例えばご自宅周辺で初期スキャンをおこない、遠方への外出などで選局リスト(ドライブ)の内容が上書きされた状態でご自宅周辺を走行する場合、受信感度が弱く正常に放送を視聴できない場合があります。その際にホームリストボタン^{ホームリスト} を押して選局リスト(ドライブ)の内容を初期スキャンをおこなった時点の状態に戻すことで、ご自宅周辺の最適な中継局を受信した状態で正常に放送を視聴することができます。

リモコン操作について

中継局 / 系列局を手動で切替える (放送局サーチ)

- 本機はバックグラウンドサーチ機能により、本機内部で常に最適な中継局をサーチしていますが、放送局サーチボタン^{放送局サーチ}を押すことで、手動で中継局 / 系列局のサーチをおこなうことができます。



- 放送局サーチボタン^{放送局サーチ}を押すと、サーチを開始します。途中で終了する場合はもう一度、放送局サーチボタン^{放送局サーチ}を押してください。
 - ※サーチは最大3分間おこなわれます。
 - ※サーチ中は映像・音声は出力されません。
 - ※サーチ中に選局ボタン^{▲▼}または数字ボタン^{1~12}を押してチャンネルを変更することができます。その場合、サーチは途中で終了します。

💡ご参考

- バックグラウンドサーチ機能により、現在受信中の中継局よりも電波の強い中継局を既に発見している場合、放送局サーチボタン^{放送局サーチ}を押しても放送局サーチは開始されず、瞬時に中継局の切替えをおこないます。
- 「チャンネル設定」の「自動放送局サーチ設定」から、視聴中に電波が受信できなくなったときに自動的にサーチする・しないを設定することができます。

リモコン操作について

音声を切り換える

- 視聴中の番組がニカ国語放送の場合、音声切換ボタン  を押すたびに、「主音声」「副音声」「主 + 副」を切り換えます。

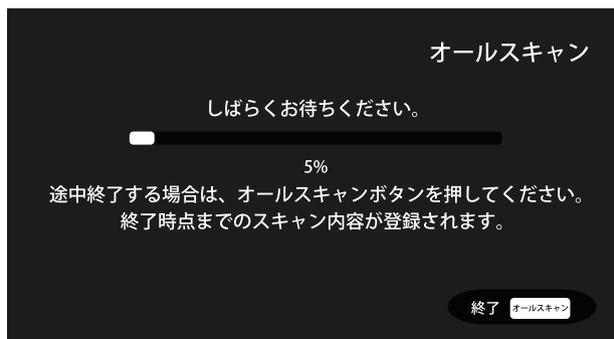


💡 参考

- 切り換える音声がない場合、「切り換える音声がありません」と表示されます。
- 「主音声」「副音声」「主 + 副」の表示は放送局側からの番組情報に依存します。

オールスキャンをおこなう

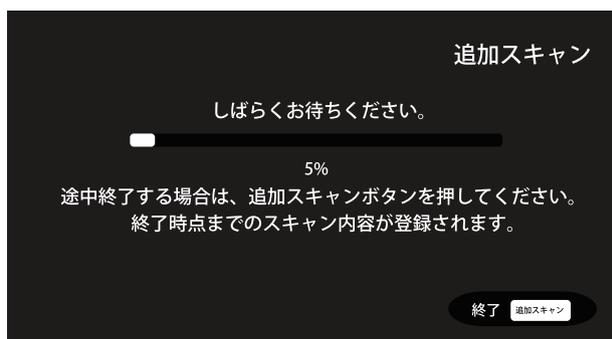
- オールスキャンボタン  を押すとスキャンをおこない、新たに選局リスト（ドライブ）が作成されます。
※現在の選局リスト（ドライブ）の内容に上書き登録されます。
※選局リスト（ホーム）の内容を書き換える場合は、初期スキャンまたは、「チャンネル設定」の「ホームリスト更新作成」からスキャンをおこなってください。



リモコン操作について

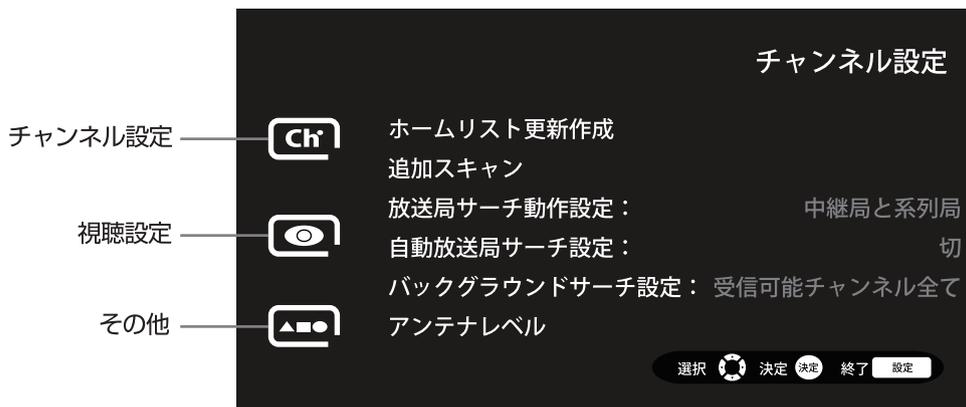
追加スキャンをおこなう

- 追加スキャンボタン  を押すとスキャンをおこない、新たに受信可能なチャンネルを現在の選局リスト（ドライブ）に追加登録します。



各種設定について

- 設定ボタン^{設定}を押すと各種設定画面が表示されます。
- 設定後、工場出荷時の状態に戻したい場合、「設定初期化」をおこなってください。
- 設定画面で約 20 秒間何も操作しない状態が続くと、画面表示は自動的に消えます。

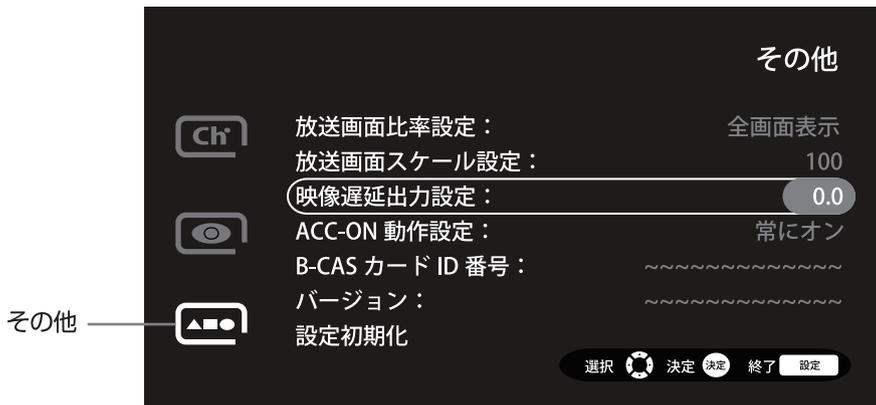


- ボタンで設定したい項目を選択して、決定ボタン^{決定}を押します。
- 設定画面表示中に設定ボタン^{設定}を押すと、設定画面を終了します。

各種設定について

映像遅延出力設定について

車両へ入力した本製品の音声信号に遅延が発生してしまう場合、映像遅延出力設定をおこなうことで、映像と音声の同期を合わせることができます。



- 設定ボタン^{設定}を押して各種設定画面を表示し、「その他」→「映像遅延出力設定」を選択します。
- ボタンで遅延時間を 0.1 秒単位で変更します。
- 決定ボタン^{決定}を押すと一旦放送映像が消え、設定した遅延時間を反映した放送映像が表示されます。
- 人物の口の動きなどの放送映像を見ながら、映像と音声合っているか確認してください。

各種設定について

ホームリスト更新作成

スキャンをおこない、新たに選局リスト(ホーム/ドライブ)を作成し直します。

追加スキャン

スキャンをおこない、新たに受信可能なチャンネルを選局リスト(ホーム/ドライブ)に追加します。

放送局サーチ動作設定

放送局サーチの際の動作を設定します

- 中継局と系列局：中継局と系列局の両方をサーチします。
- 中継局のみ：中継局のみサーチします。

自動放送局サーチ設定

受信電波が弱くなった際、放送局サーチを自動でおこなうかを設定します。「15 秒」～「120 秒」のいずれかに設定すると、本機は設定した時間連続して受信なしと判断した場合、自動で放送局サーチを開始します。

- 切：自動で放送局サーチをおこないません。
- 「15 秒」「30 秒」「60 秒」「90 秒」「120 秒」：設定した時間でサーチを開始します。

バックグラウンドサーチ設定

バックグラウンドサーチの動作を設定します

- 受信可能チャンネル全て：ワンセグ受信状態になると 1 チューナーが全局バックグラウンドサーチを行います。
(未登録の放送局は選局リストに追加されます)
- 視聴中チャンネルのみ：ワンセグ受信状態になると 1 チューナーが視聴中のチャンネルのみバックグラウンドサーチを行います。
- オフ：バックグラウンドサーチを行いません。(4 チューナー全てで受信します)

アンテナレベル

現在視聴中のチャンネルの電波強度を確認することができます。
※数値はあくまでも目安となります。

受信動作設定

電波の受信状況に応じてワンセグと 12 セグ放送を自動的に切り換えるか、受信状況に関わらずワンセグ放送で固定するかを設定します。

- ワンセグ固定：ワンセグ放送のみ受信します。
- ワンセグ優先自動切換：ワンセグ放送を優先でワンセグ/12 セグを自動で切り換えます。
- 12 セグ優先自動切換：12 セグ放送を優先でワンセグ/12 セグを自動で切り換えます。

字幕設定

字幕表示を設定します。

- 切：字幕を表示しません。
 - 言語 1：言語 1 を表示します。
 - 言語 2：言語 2 を表示します。
- ※字幕表示は放送局側の情報に依存します。

Ch

チャンネル設定



視聴設定

各種設定について

 視聴設定	文字スーパー設定 文字スーパーの表示を設定します。 <ul style="list-style-type: none">●切：表示しません。●言語 1：言語 1 を表示します。●言語 2：言語 2 を表示します。
	二カ国語放送設定 音声の切換設定をします。 <ul style="list-style-type: none">●主音声：主音声を出力します。●副音声：副音声を出力します。●主 + 副：主 + 副音声を出力します。
	時計表示設定 画面に表示される時計の表示設定をします。 <ul style="list-style-type: none">●切：時計を表示しません。●画面表示と連動：画面表示ボタン  を押すたびに表示・非表示します。●常に表示：常に画面上に時計を表示します。
	音量設定 音声のレベルを 0~20 の間で設定します。
 その他	放送画面比設定 画面比の設定をします。 <ul style="list-style-type: none">●全画面表示●16:9●4:3
	放送画面スケール設定 画面の表示サイズを 80~100 の間で設定します。
	映像遅延出力設定 音声の遅延に対して映像を遅延させることで同期を合わせることができます。 0.0~1.0(秒) の間で設定可能です。
	ACC-ON 時動作設定 ACC-ON したときの本機の動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none">●常にオン：ACC-ON 時、本機の電源が常にオンします。●常にオフ：ACC-ON 時、本機の電源が常にオフとなります。
	B-CAS カード ID 番号 本機に挿入されている B-CAS カードの ID 番号を表示します。
	バージョン 本機のソフトウェアバージョンを表示します。
	設定初期化 すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

こんなときは？

こんなときは ...	ご確認ください	ページ
本機の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ケーブルは正しく接続されていますか？ ●ヒューズは切れていませんか？ ●「ACC-ON 時動作設定」が「常にオフ」に設定されていませんか？ 	16 16 35
映像や音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の電源はオンしていますか？ ●アンテナ接続や外部機器との接続は正しいですか？ ●外部機器側の入力設定は正しいですか？ 	22 13~15
音声のみ出力されない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機や外部機器の音量が0になっていませんか？ ●本機や外部機器が消音になっていませんか？ ●外部機器との接続は正しいですか？ 	22 22 14~15
ブロックノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> ●電波の受信状態が悪い場合、ブロックノイズが発生することがあります。 「放送局サーチ」をおこなうことで改善される場合があります。 ●アンテナは正しく取り付け・接続されていますか？ 	30 7~13
リモコンが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコン受光部は正しく接続されていますか？ ●電池は正しい向きで入っていますか？ ●リモコンの電池寿命ではありませんか？ ●強い光や直射日光がリモコン受光部に当たっていませんか？ ●リモコンをリモコン受光部に向けて操作していますか？ 	16 18 18 18 18
12セグ放送が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ●電波の受信状態が悪いことが考えられます。 「放送局サーチ」をおこなうことで改善される場合があります。 ●「ワンセグ固定」に設定されていませんか？ ●miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか？ ●アンテナは正しく接続されていますか？ 	30 22 17 7~13
選局リストから放送局が削除されています	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンチャンネル番号が異なる地域間で、尚且つ両地域の放送電波が受信可能なエリアの場合、バックグラウンドサーチが上手く動作せず、選局リストから放送局が削除されてしまう場合があります。このような地域での使用がメインとなる場合はバックグラウンドサーチ機能をオフにしてご使用ください。 ●リモコンの「ホームリスト」ボタンを押すことで選局リストの内容を初期スキャン時点の状態へ戻すことができます。 	34 29

製品仕様

製品仕様

品名	地上 DTV チューナー
地上波テレビ受信周波数	470MHz~710MHz
使用電源	DC12V
映像出力	1Vp-p/75Ω(RCA)/HDMI タイプ A
音声出力	ステレオ (RCA、HDMI)
動作温度範囲	-10°C~+60°C
消費電力	約 6W
本体サイズ	約 90mm×22mm×157mm
本体重量	約 380g

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

各種商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- 本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、当社はこれを十分尊重いたします。

製品保証

製品保証について



製品名 **Expand AT-DTV4X Pro**
地上DTVチューナー

シリアルNO. _____

お名前 _____

住所 _____

電話番号 _____

メールアドレス _____

取付日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

車種 _____

型式 _____

車台番号 _____

初年度登録 _____

販売店 印

保証期間: 製品出荷日より1年間

通常使用で動作不良となった場合、保証致します。
保証範囲は当製品及び付属品となります。それ以外は対象外となります。

保証が適応できない場合
本説明書に従わず正しい装着を行わなかった場合、火災・地震・水害・塩害など天災地変及び公害や異常電圧による故障。
作業時などの外的要因による各端子の破損など。

※製品の脱着に掛かる工賃及び送料は保証の対象外となります。



株式会社エイタック 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田5581